

## 第1章

# 地震の発生

# 第1章

## 地震の発生

### 序 西宮市の概要

#### 1—地 勢

##### ①地形

市域は、南北19.1km、東西13.8kmにわたり、ひょうたん型に広がっている。市域の中央部には東六甲山系に属する山地が東西に横断し、南部は5.5kmにわたって大阪湾に面しているため、海拔0mから900mにいたる起伏と変化にとんだ地形となっている。

市域総面積の70%を占め、東六甲山系から北摂山系の一角に広がる山地は、市北部地域に展開している豊かな自然に恵まれた地域である。

##### ②地質

地質系統は、中世代の六甲花崗岩及び石英粗面岩類の古い系統と、新生代における神戸層群、大阪層群、段丘れき層及び沖積層といった比較的新しい系統の2つに大きくわけることができる。

太多田川から北部一帯は主として石英粗面岩類からなり、山口町と塩瀬町の一部では泥岩、砂岩、れき岩からなる神戸層群で覆われており、この層群において集落の形成がみられる。

東六甲山系に属する山地においては、表層は凝固度の弱いれき、砂、粘土からなる洪積層（大阪層群、段丘れき層）に覆われており、南部の市街地は、花崗岩の風化作用と河川の侵食作用によって、六甲山系の土砂が多量に下流に運ばれ、堆積してできた沖積層のデルタの上に形成されている。

図1-序-1 西宮市全区

#### 2—沿 革

本市は、古くは西宮神社の門前町として、さらには西国街道と中国街道が交差する宿場町として栄えた。江戸時代には「宮水」の発見により酒造業が盛んとなり、西宮港という立地条件にも恵まれ、“灘の生一本”の生産地として全国に知られるようになった。

明治以降、国鉄、阪神、阪急などの鉄軌道が整備されたのを契機として、本市は、恵まれた自然環境もあって、住宅地として発展するとともに、良好な教育環境を求めて大学が移転してくるなど、今日の本市の性格を特徴づける基礎が形作られた。

一方、産業の面においては、酒造業を中心に食料品、製瓶、紡績の軽工業、さらには鉄鋼、化学などの重工業も発達し、昭和30年代には阪神工業地帯の一角を担うまでの工業地帯を形成することとなった。

この間、本市の母体である西宮町は、大正14年4月に市制を施行し、以後周辺の町村との合併や、さらには昭和40年代から始まる臨海部の埋め立て等により市域を拡大し、現在の面積は99.87km<sup>2</sup>となっている。これに伴い、人口も大正14年の約3万4千人から平成6年には約42万人と増加し、全国でも有数の規模の都市となっている。

本市は神戸、大阪の2大都市圏の中間に位置する中、住宅地、工業地として発展してきたが、都市化の進展、とりわけ阪神地域への人口の集中が急速に進んだ昭和30年代に、住工混在、公害問題など様々な都市問題を抱えることとなった。そのような中で、昭和38年11月、全国で最初に「文教住宅都市」宣言を行い、良好な住宅地と恵まれた教育環境を生かしたまちづくりを進めることを明らかにした。昭和46年には、「西宮市総合計画」を策定。その後、昭和61年には“活力とうるおいのある文教住宅都市”の建設をめざす「西宮市新総合計画」を策定し、このまちづくりの基本目標の実現に向けて、着実に発展を続けてきた。

平成7年…西宮市は市制施行70周年という記念すべき年を迎えようとしていた。

資料1-序-1 西宮市の概要

- 人口 424,101人 (H 7. 1)
- 面積 99.87km<sup>2</sup> (H 7. 1)
- 産業別就業人口 (H 2 国調)
  - 第1次産業 1,019人 (0.5%)
  - 第2次産業 52,449人 (26.0%)
  - 第3次産業 145,189人 (72.0%)
  - 総 数 201,513人 (分類不能の産業を含む)
- 高齢者比率 10.3% (H 2 国調)
- 昼夜間人口比 87.9% (H 2 国調)
- 選挙人名簿登録者数 (H 6. 9. 2)
  - 男 153,305人 女 168,066人 計 321,371人
- 市の沿革
  - T14. 4. 1 市制施行
  - S 8. 4. 1 合併今津町 芝村 大社村
  - S16. 2. 11 “ 甲東村
  - S17. 5. 5 “ 瓦木村
  - S26. 4. 1 “ 鳴尾村 塩瀬村 山口村
- 財 政 (H 5 年度決算；普通会計) (単位：千円)
 

歳 入	150,784,644	実質収支	1,736,119
歳 出	148,400,889	地方債現在高	96,837,673
歳入歳出差引	2,383,755	基金現在高	20,770,744
翌年度に繰越すべき財源	647,636	(財政調整基金)	(10,595,569)
- 職員数 4,169人 (H 6. 4. 1)
- 公共施設等の状況

小学校	42校(44校)	公民館	23カ所
中学校	19校(27校)	体育館	7カ所(11カ所)
高等学校	3校(17校)	病院	1カ所(21カ所)
保育所(公私立)施設充足率	39カ所 115.0%	診療所	5カ所(589カ所)
幼稚園(公私立)施設充足率	65カ所	都市公園等都市計画 区域内人口1人当たり	276カ所
	100.2%		5.9㎡
養護老人ホーム施設充足率	1カ所	道路改良率	64.7%
	18.1%	道路舗装率	95.1%
上水道普及率	99.9%	ごみ実施率	100.0%
下水道普及率(人口)	82.6%	し尿実施率	3.2%
下水道普及率(面積)	36.4%	生活排水処理率	90.4%

( ) 内は市立以外を含む。

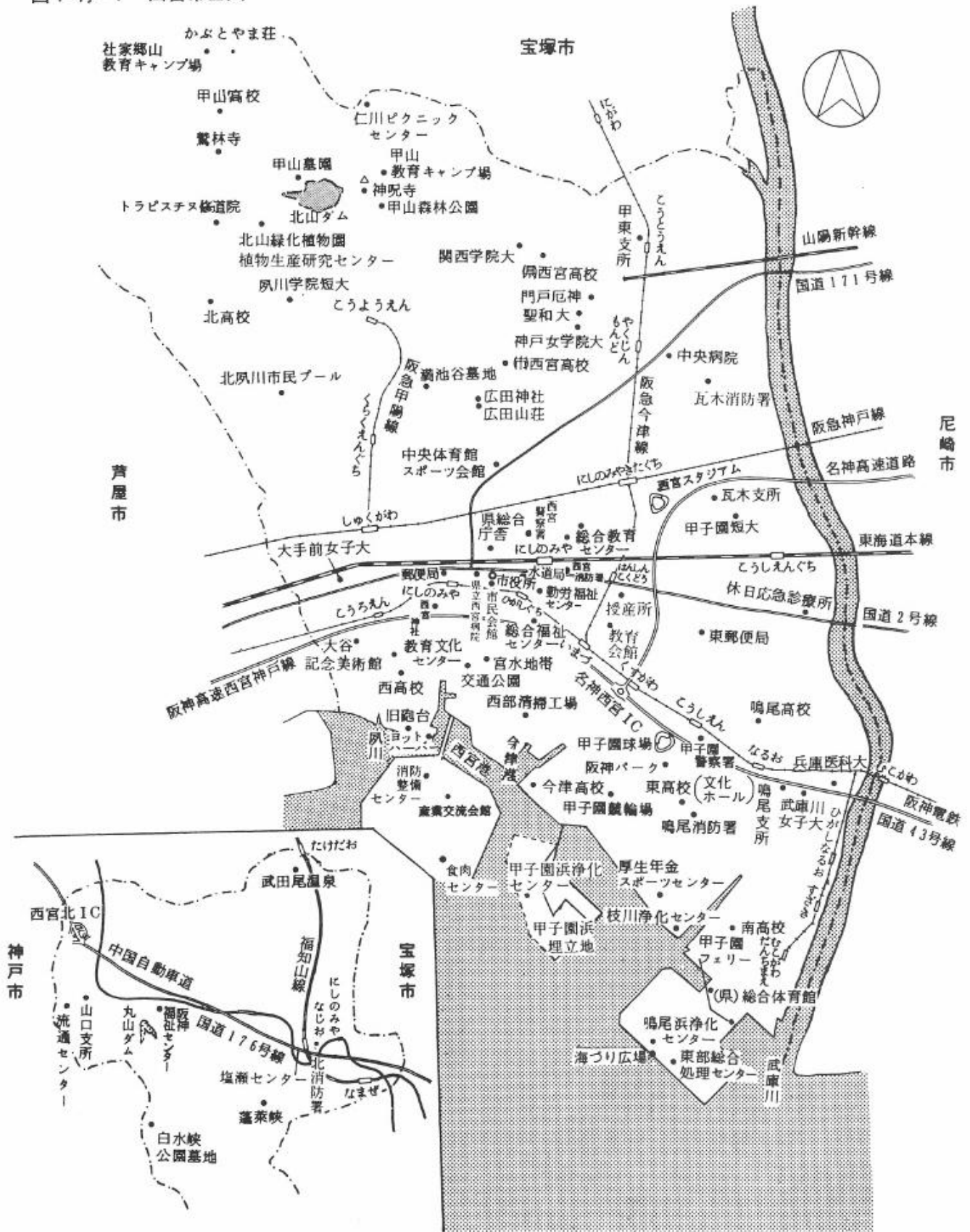
- 市立の主な公共施設 (建設年度)
 

西部清掃工場 (S58)	植物生産研究センター (H 2)
中央図書館 (S59)	産業交流会館 (H 3)
総合福祉センター (S59)	リゾ鳴尾浜 (H 4)
北山山荘 (S62)	樋之池公園 (H 4)
なるお文化ホール (S63)	フレンテホール (H 5)
- 都市づくりの基本目標
 

“文教住宅都市を基調とする個性的な都市”の建設 ― 出会い 創造 にしのみやー
- 都市宣言
  - 安全都市宣言 (S37. 1)
  - 文教住宅都市宣言 (S38.11)
  - 平和非核都市宣言 (S58.12)
- 市花・木
  - さくら(花) くすのき(木)
- 祭・行事
 

西宮神社十日戎 (1月)	西宮国際ハーフマラソン (5月)
さくら祭り (4月)	全国高等学校野球選手権大会 (8月)
選抜高等学校野球大会 (4月)	西宮市民まつり (8月)
- 名産・特産品
  - 清酒 竹細工 和紙 寒天
- わがまちの顔
  - 甲子園球場 西宮戎っさん 北山緑化植物園

図1-序-1 西宮市全図



## 1 地震の概要

### 1—概況

平成7年1月17日午前5時46分、淡路島北部の北緯34.6度、東経135.0度、深さ14.3kmを震源とするマグニチュード7.2の地震が発生した。この地震により、神戸市と洲本市で震度6を観測したほか、東北地方南部から九州にかけての広い範囲で有感となった。その後、気象庁では地震機動観測班を増強して、現地調査を行い、その結果、西宮市では夙川付近外3カ所、神戸市、芦屋市、淡路島北部のそれぞれの一部地域では、震度7であったことが判明した。

余震活動は、本震の発生後断続的に続いていたが、時間の経過とともに次第に減衰している。1月17日午前5時49分と5時52分及び7時38分に発生したマグニチュード4.9が最大の余震である。

気象庁は今回の地震を「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」と命名した。

さらに政府は、今回の災害の規模が特に大きいことに加え、今後の復旧・復興施策の推進の際に統一的な名称が必要となることが考えられることから、災害名を「阪神・淡路大震災」と呼称することを平成7年2月14日に閣議口頭了解した。

この地震は、我が国がかつて経験したことのない大都市直下型激震であり、兵庫県下の被害はきわめて甚大で、人的被害は死者6,279人、行方不明者2人、負傷者34,900人、家屋の損壊は全壊99,996棟、半壊100,166棟(平成8年5月24日現在兵庫県災害対策本部調べ)にのぼった他、道路、鉄道、港湾等の都市基盤施設や電気、電話、ガス、上水道等のライフライン施設、また、多くの商工業施設等や産業にも広い範囲に渡って壊滅的な被害を受けた。これらの数字は、昭和23年(1948年)に発生した福井地震(死者3,769人、負傷者22,203人、家屋全壊36,184戸)の被害を大幅に上回り、大正12年(1923年)の関東大震災に次ぐ地震災害となった。

### 2—本震

1. 発生の日時 平成7年1月17日 午前5時46分
2. 地震の規模 マグニチュード7.2 震度7(激震)
3. 震源地 淡路島北部 震源の深さ14.3km

※ 地震の諸元(暫定値)は、気象庁が平成7年2月17日に発表した数値である。

4. 特徴 岩盤上での振動数が高く、極めて大きい上下方向の加速度を示す。  
地震動が大きい地域が限定されており、典型的な直下型地震である。

図1-1-1 本震の震度分布図および各地の震度

図1-1-2 平成7年兵庫県南部地震加速度波形

#### ◎震度7の適用

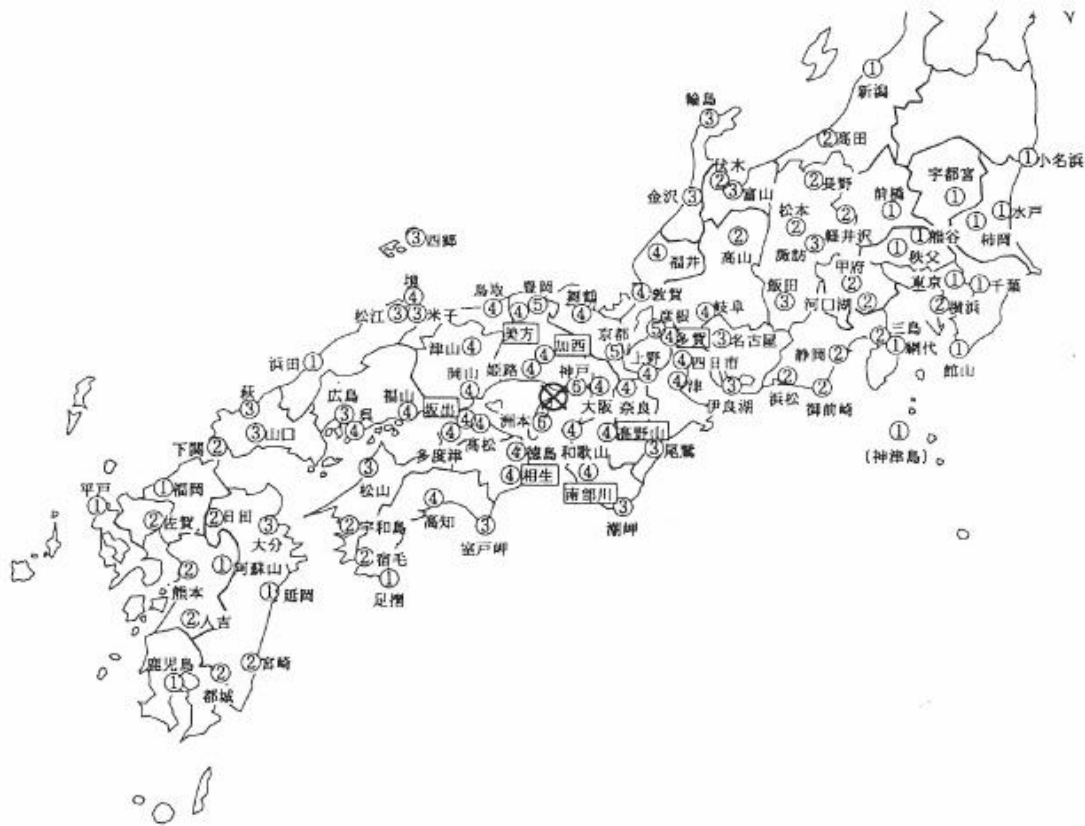
気象庁は1月20日に被災地を現地調査の結果、神戸市中央区三宮付近と淡路島北部の一部地域が観測史上初の震度7(激震)であったと発表。

さらに、2月7日には震度7の地域を大幅に拡大し、西宮市では夙川付近、阪急甲東園駅付近、西宮北口駅付近、阪神今津駅付近が震度7と判定された。

図1-1-3 現地調査による震度7の分布



図1-1-1 本震の震度分布図および各地の震度



Ⅵ：神戸、洲本

Ⅴ：彦根、京都、豊岡

Ⅳ：福井、敦賀、岐阜、多賀、四日市、津、上野、奈良、舞鶴、大阪、高野山、和歌山、南部川、美方、加西、  
姫路、徳島、相生、鳥取、境、津山、岡山、高松、坂出、多度津、高知、福山、呉

Ⅲ：諏訪、飯田、富山、輪島、金沢、名古屋、伊良湖、尾鷲、潮岬、室戸岬、西郷、米子、松江、広島、松山、  
萩、山口、大分

Ⅱ：高田、長野、軽井沢、松本、横浜、甲府、河口湖、三島、静岡、御前崎、浜松、伏木、高山、宇和島、宿毛、  
下関、日田、宮崎、都城、佐賀、熊本、人吉

Ⅰ：小名浜、新潟、水戸、柿岡、宇都宮、前橋、熊谷、秩父、東京、千葉、館山、網代、(神津島)、浜田、足摺、  
延岡、福岡、平戸、鹿児島

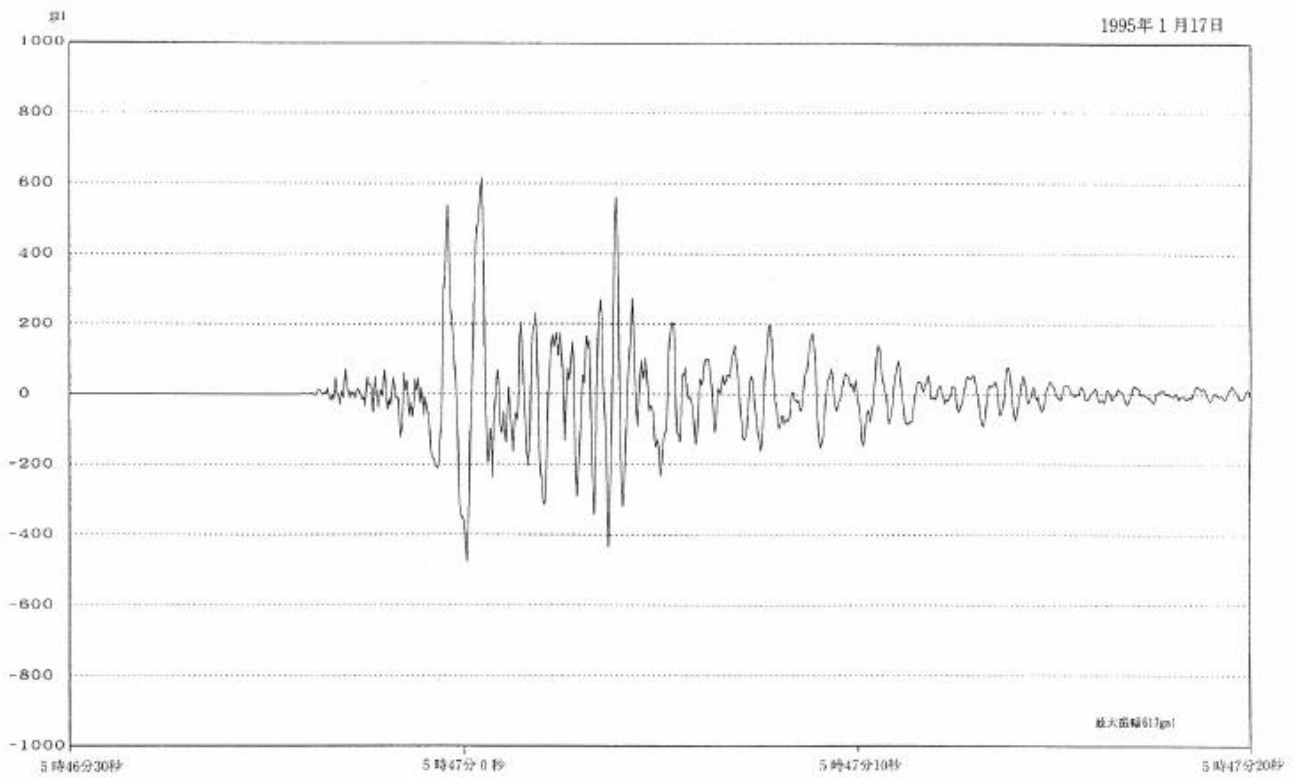
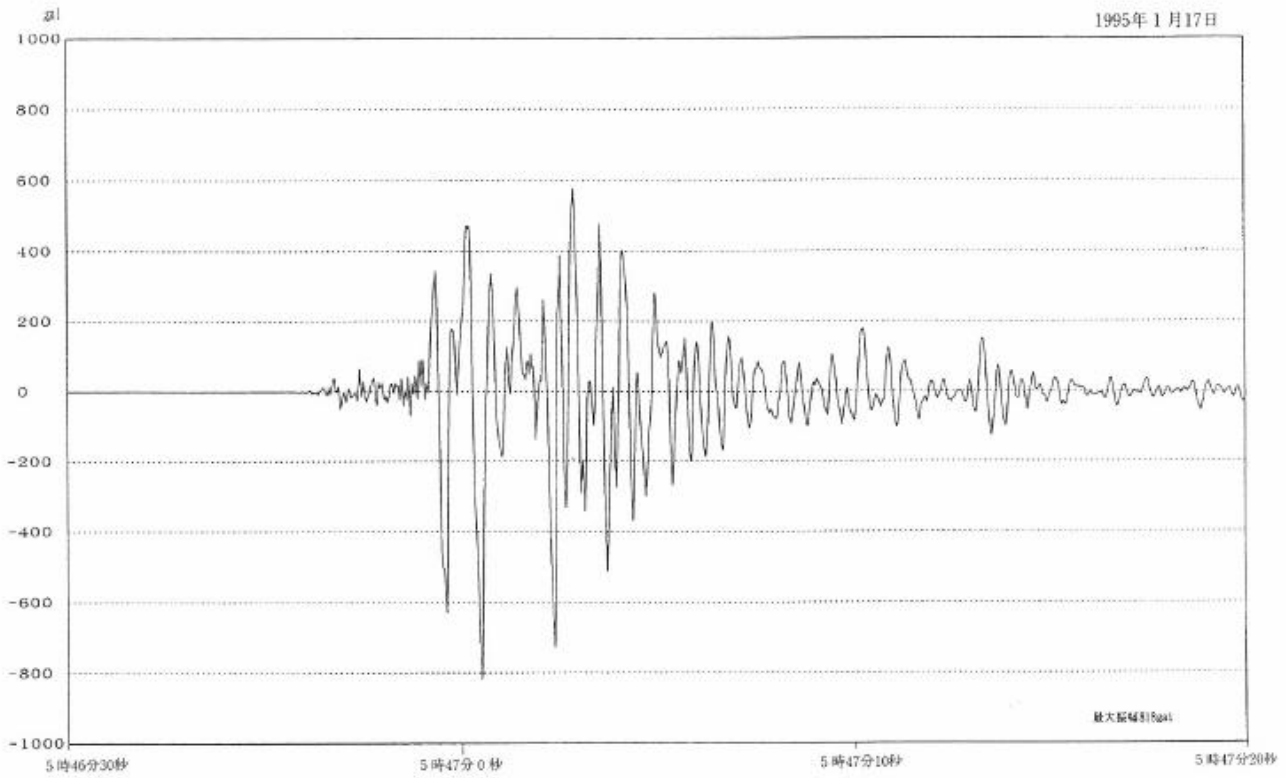
注) ・  は気象官署以外で気象庁が観測した震度Ⅳ以上の観測点

・ 神津島は臨時観測点

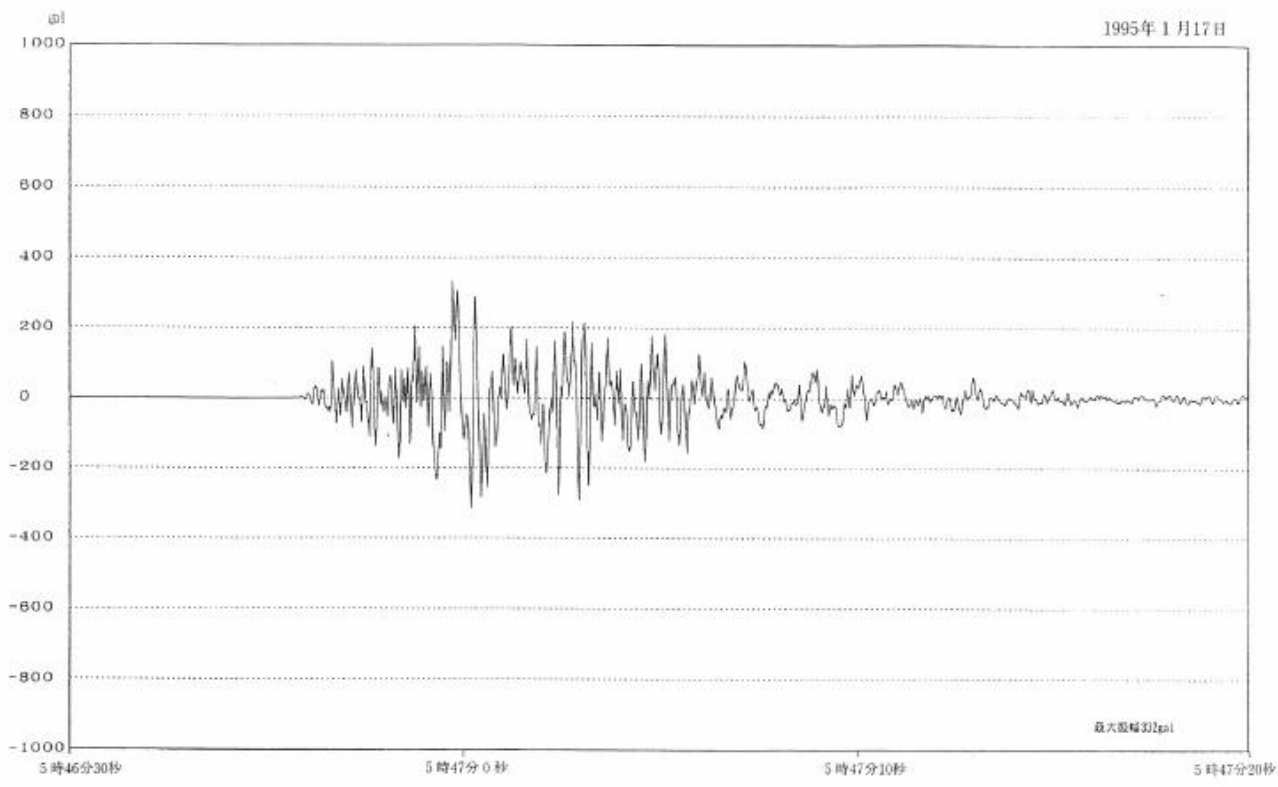
・ 震度の観測は計測震度計による (計測震度計：地震動の加速度、周期から震度を算出)

図 1-1-2 平成 7 年兵庫県南部地震加速度波形

(地点：神戸海洋気象台：N/S)

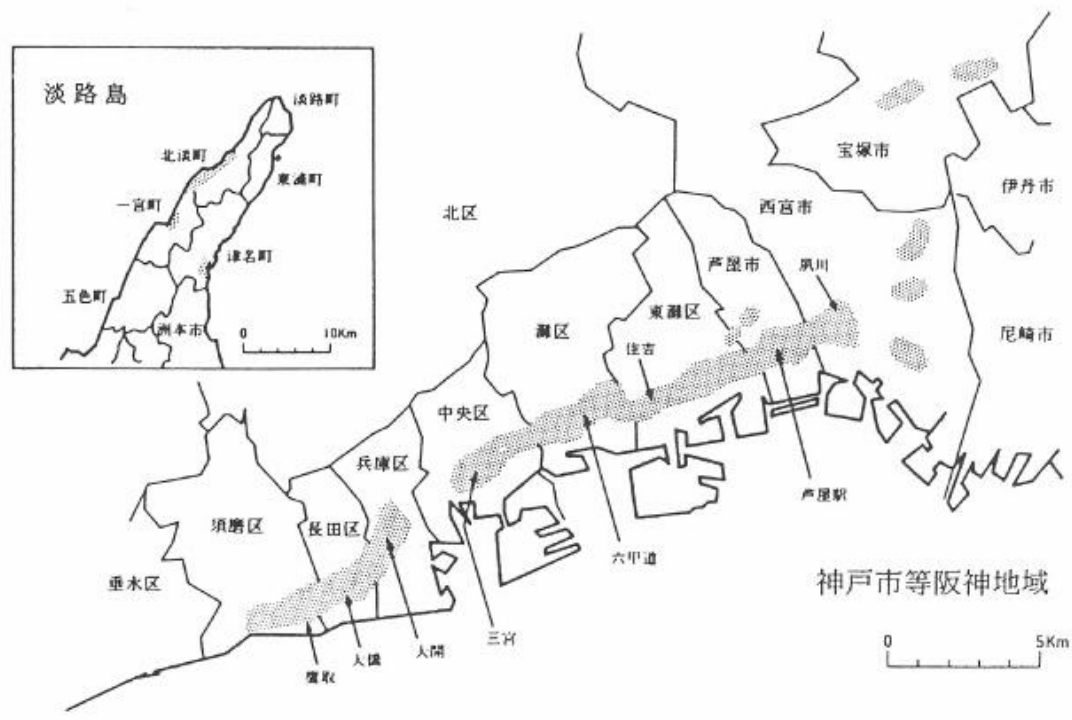


(地点：神戸海洋気象台：E/W)



(地点：神戸海洋気象台：U/D)

図 1-1-3 現地調査による震度 7 の分布



出典：気象庁資料



### 3 余震

地震発生以後1月27日24時までの余震の状況は、次のとおりである。

表1-1-1 余震の状況

表1-1-2 気象官署における最大震度別有感余震回数

図1-1-4 震央分布図

図1-1-5 地震回数ヒストグラム

#### ◎臨時観測点の設置

神戸海洋気象台は臨時観測点として、市内甲子園口6丁目のNTT瓦木南別館内に震度計を設置し、1月20日19時から観測を開始した。

西宮市における余震としては、1月25日23時16分に観測された震度4(マグニチュード4.7)が最大である。

表1-1-1 余震の状況(1月27日24時現在)

番号	月日時分	各地の震度	番号	月日時分	各地の震度	番号	月日時分	各地の震度
1	1 17 05:49	Ⅳ:神戸 Ⅲ:岡山 Ⅱ:京都、徳島、大阪、彦根、和歌山、姫路、豊岡、多度津、高松、米子、鳥取、境 Ⅰ:舞鶴、高知、福山、津山、呉、潮岬、室戸岬、松江、上野、伊良湖	18	17 07:38	Ⅳ:奈良 Ⅲ:神戸、大阪、京都、彦根、舞鶴、豊岡、津、上野 Ⅱ:岡山、飯田、名古屋、岐阜、四日市、敦賀、尾鷲 Ⅰ:和歌山、徳島、鳥取、姫路、洲本、潮岬、境、高松、福井、諏訪、伊良湖	41	17 12:32	Ⅲ:神戸、大阪、奈良 Ⅰ:和歌山
2	05:51	Ⅲ:神戸 Ⅱ:姫路 Ⅰ:大阪、豊岡、岡山、京都、和歌山	19	07:48	Ⅲ:岡山 Ⅰ:神戸、徳島、和歌山	42	12:34	Ⅰ:神戸
3	05:52	Ⅳ:神戸 Ⅲ:和歌山、舞鶴、京都、大阪、岡山、奈良、豊岡、彦根 Ⅰ:姫路、津山、徳島、高松、多度津、鳥取、上野、伊良湖、境	20	07:57	Ⅲ:洲本 Ⅰ:神戸、大阪、奈良、豊岡、岡山、姫路、津山	43	12:51	Ⅰ:洲本
4	05:56	Ⅲ:神戸 Ⅰ:姫路	21	08:15	Ⅲ:神戸 Ⅰ:豊岡、岡山	44	13:01	Ⅰ:神戸
5	06:05	Ⅲ:神戸 Ⅰ:豊岡、岡山	22	08:21	Ⅲ:神戸、洲本 Ⅰ:和歌山、徳島、岡山、奈良、高松、鳥取、豊岡、多度津	45	13:04	Ⅲ:神戸 Ⅱ:京都、奈良、豊岡、彦根、岡山、洲本 Ⅰ:大阪、鳥取、高松、舞鶴、和歌山、徳島、津山、上野、四日市、敦賀、姫路、津、福井、多度津
6	06:15	Ⅰ:神戸、奈良	23	08:26	Ⅱ:神戸	46	13:51	Ⅱ:神戸
7	06:18	Ⅰ:神戸、岡山	24	08:30	Ⅲ:神戸 Ⅱ:洲本、豊岡、岡山、奈良 Ⅰ:大阪、和歌山、京都、徳島、高松、彦根、鳥取、福山、津、上野、多度津	47	14:04	Ⅱ:神戸 Ⅰ:洲本
8	06:29	Ⅲ:神戸、多度津、和歌山、岡山、高松、徳島 Ⅰ:米子、境、彦根、舞鶴、福山、高知、豊岡、鳥取、奈良、京都、呉、姫路、津山、上野	25	08:37	Ⅰ:神戸	48	14:30	Ⅰ:神戸
9	06:33	Ⅲ:神戸	26	08:48	Ⅱ:神戸、豊岡 Ⅰ:洲本、和歌山、京都、奈良、鳥取、姫路、津山	49	14:31	Ⅱ:神戸
10	06:40	Ⅲ:神戸 Ⅰ:京都、奈良	27	08:58	Ⅳ:神戸 Ⅱ:洲本、姫路、和歌山、京都、豊岡 Ⅰ:大阪、奈良、高松、彦根、潮岬、鳥取、舞鶴、徳島、岡山、多度津、境、上野	50	16:04	Ⅱ:神戸
11	06:42	Ⅲ:神戸、大阪、奈良、姫路、鳥取 Ⅰ:京都、和歌山、高松、徳島、岡山、境、豊岡、舞鶴、福山、津山、多度津	28	09:01	Ⅱ:神戸 Ⅰ:洲本、奈良、岡山	51	16:24	Ⅰ:神戸
12	06:54	Ⅲ:神戸 Ⅰ:和歌山、姫路、岡山、徳島	29	09:15	Ⅰ:神戸	52	17:18	Ⅱ:神戸
13	07:00	Ⅲ:洲本 Ⅲ:神戸 Ⅰ:高松、岡山、徳島、奈良、豊岡、鳥取、境、津山、姫路、多度津	30	09:20	Ⅲ:神戸	53	18:01	Ⅰ:神戸、洲本
14	07:05	Ⅰ:洲本	31	09:50	Ⅰ:神戸	54	18:24	Ⅱ:神戸
15	07:09	Ⅰ:洲本	32	09:58	Ⅱ:神戸、洲本 Ⅰ:徳島、京都、鳥取、姫路、豊岡、奈良、津山	55	19:27	Ⅰ:神戸
16	07:26	Ⅲ:神戸	33	10:03	Ⅰ:神戸	56	19:53	Ⅰ:神戸
17	07:31	Ⅲ:神戸	34	10:27	Ⅰ:神戸	57	21:09	Ⅰ:神戸
			35	10:50	Ⅰ:神戸	58	22:18	Ⅱ:神戸、洲本、豊岡、岡山、姫路 Ⅰ:舞鶴、高松、徳島、福山、福井、鳥取、奈良、津山、境
			36	11:20	Ⅰ:神戸	59	22:58	Ⅱ:神戸 Ⅰ:奈良
			37	11:24	Ⅰ:神戸	60	23:04	Ⅲ:神戸
			38	11:31	Ⅱ:神戸	61	23:38	Ⅰ:神戸
			39	11:34	Ⅰ:神戸、和歌山、奈良、徳島、豊岡、高松、岡山、洲本、多度津	62	18 00:07	Ⅰ:神戸、洲本、岡山
			40	12:25	Ⅲ:神戸	63	00:10	Ⅱ:神戸
						64	00:51	Ⅲ:神戸 Ⅱ:洲本 Ⅰ:多度津、高松、岡山、鳥取、彦根、豊岡、舞鶴、姫路、奈良、京都、大阪、和歌山、上野
						65	02:35	Ⅱ:洲本 Ⅰ:神戸、和歌山、徳島、高松、多度津、奈良、岡山、境
						66	02:53	Ⅰ:神戸
						67	04:07	Ⅰ:神戸
						68	05:06	Ⅰ:神戸
						69	05:25	Ⅲ:神戸 Ⅱ:京都 Ⅰ:洲本、奈良、大阪、和歌山、豊岡、彦根、徳島、岡山、鳥取、上野、敦賀

番号	月日時分	各地の震度
70	18 05:37	I:神戸
71	06:32	I:神戸
72	06:50	III:神戸 II:岡山、豊岡 I:洲本、奈良、大阪、京都、和歌山、姫路、舞鶴、鳥取、高松、多度津
73	08:04	I:神戸
74	08:18	I:神戸
75	09:16	I:神戸
76	13:34	I:洲本、岡山
77	17:36	II:洲本 I:姫路
78	22:03	I:姫路、洲本、境、鳥取、岡山、津山
79	19 00:59	II:神戸 I:大阪、京都、奈良、彦根、豊岡
80	01:52	II:神戸
81	02:23	I:神戸
82	05:10	II:神戸
83	05:12	III:神戸
84	07:10	I:神戸
85	07:11	I:神戸
86	10:36	III:神戸 I:奈良、大阪
87	13:58	I:神戸
88	14:50	I:神戸
89	15:19	II:神戸 I:(北淡町)
*	15:32	II:(北淡町)
*	15:38	I:(北淡町)
*	16:41	I:(北淡町)
*	16:55	I:(北淡町)
*	17:15	I:(北淡町)
*	17:52	I:(北淡町)
90	18:59	III:洲本、(北淡町) II:神戸 I:岡山、高松、豊岡、徳島、津山、多度津、姫路
*	19:33	I:(北淡町)
*	20:46	III:(北淡町)
91	21:54	II:(北淡町) I:神戸
*	22:54	II:(北淡町)
*	20 04:44	I:(北淡町)
*	08:04	I:(北淡町)
*	08:19	I:(北淡町)
92	08:45	II:神戸

番号	月日時分	各地の震度
93	19 11:49	II:神戸、洲本、豊岡、岡山、(北淡町) I:境、福山、鳥取、津山、多度津、高松、徳島
*	12:02	II:(北淡町)
94	13:08	I:神戸
95	15:38	III:神戸 I:(神戸垂水)
*	15:55	I:(北淡町)
96	19:07	I:神戸
*	20:37	I:(神戸垂水)
97	23:26	I:神戸
*	21 02:16	I:(北淡町)
*	02:21	I:(北淡町)
*	04:24	I:(北淡町)、(神戸垂水)
98	06:32	III:(神戸垂水) I:神戸、(北淡町)
*	07:27	I:(北淡町)
*	07:47	I:(北淡町)
*	15:44	I:(北淡町)
99	16:57	I:神戸
*	17:33	I:(北淡町)
*	18:13	III:(北淡町)
100	20:01	I:神戸
101	20:12	II:(神戸垂水) I:神戸、(北淡町)
102	21:12	IV:(北淡町) III:神戸、(神戸垂水) I:洲本、奈良、豊岡、鳥取、津山、(西宮市)
*	23:41	I:(北淡町)
*	23:53	I:(北淡町)
*	22 09:24	I:(北淡町)
*	10:25	II:(北淡町)
103	12:23	II:(北淡町) I:神戸、洲本、(神戸垂水)
104	15:20	I:神戸
*	16:00	II:(北淡町)
*	17:01	II:(北淡町)
105	23 00:33	IV:(北淡町) II:神戸、(神戸垂水) I:奈良、津山、京都、(西宮市)
106	02:14	II:(北淡町)、(神戸垂水) I:神戸
*	04:44	I:(北淡町)

番号	月日時分	各地の震度
107	23 06:02	III:洲本、神戸、(北淡町) II:(神戸垂水) I:姫路、和歌山、奈良、高松、徳島、津山、京都、多度津、舞鶴、鳥取、豊岡、境、(西宮市)
*	09:16	I:(北淡町)
*	09:24	I:(北淡町)
*	15:21	I:(北淡町)
*	16:32	I:(北淡町)
*	17:03	I:(北淡町)
108	21:44	III:神戸、(西宮市) II:(北淡町)、(神戸垂水) I:岡山、高松、鳥取、豊岡、奈良、京都、大阪、洲本
*	24 02:53	I:(北淡町)
109	03:49	III:(神戸垂水) II:神戸、(北淡町)
*	06:47	I:(神戸垂水)
*	12:04	I:(北淡町)
110	25 16:58	II:洲本、(北淡町) I:和歌山、(神戸垂水)
111	18:48	II:神戸
*	21:18	I:(北淡町)
*	22:27	I:(北淡町)
112	23:06	III:(北淡町) I:神戸、(神戸垂水)
113	23:16	IV:神戸、(西宮市)、(大阪西淀川) III:京都、大阪 II:津、敦賀、上野、豊岡、鳥取、舞鶴、彦根、奈良、洲本、(北淡町)、(神戸垂水) I:福井、伊良湖、岐阜、尾鷲、四日市、多度津、高松、岡山、徳島、諏訪、和歌山
114	26 01:01	I:神戸、(西宮市)
*	01:08	I:(北淡町)
*	02:58	I:(神戸垂水)
*	06:31	I:(北淡町)
*	08:14	I:(北淡町)
*	08:34	I:(北淡町)、(神戸垂水)
*	08:41	I:(北淡町)
*	08:52	I:(北淡町)
*	10:08	II:(北淡町)
*	14:30	I:(北淡町)
*	20:10	II:(北淡町)
115	23:08	I:神戸、(西宮市)
116	23:51	I:神戸
117	27 04:50	I:奈良、(西宮市)
118	08:16	I:神戸、(北淡町)、(神戸垂水) I:(北淡町)、(神戸垂水) II:(神戸垂水) II:(北淡町) I:(北淡町) I:(北淡町)
*	12:44	I:(北淡町)、(神戸垂水)
*	17:20	II:(神戸垂水)
*	17:41	II:(北淡町)
*	20:01	I:(北淡町)
*	23:00	I:(北淡町)

表 1-1-2 気象官署における最大震度別有感余震回数

震度	I	II	III	IV	合計
17日	23	27	7	4	61
18日	11	3	3	0	17
19日	6	4	3	0	13
20日	3	2	1	0	6
21日	4	0	1	0	5
22日	2	0	0	0	2
23日	1	1	2	0	4
24日	0	1	0	0	1
25日	1	2	0	1	4
26日	3	0	0	0	3
27日	2	0	0	0	2
合計	56	40	17	5	118

注) この回数表は臨時観測点の震度を含まない。

注・( ) は臨時観測点。

・各臨時観測点の観測開始時刻は以下の通り。

北淡町：19日12時～、神戸垂水：20日12時～

西宮市：20日19時～、大阪西淀川：25日12時～

・気象官署における有感地震には通し番号を付けた。

・\*印の地震は臨時観測点のみで有感となった地震。



#### 4 過去における主な地震等

近畿地方に被害をもたらした1900年以降の主な地震は、図1-1-6、表1-1-3のとおりである。

##### ◎西宮市における風水害等による被害

###### ア. 風水害等による被害

西宮市は過去に風水害等による被害を受けているが、その概要（昭和以降、人的被害を伴った災害）は、表1-1-4のとおりである。

###### イ. 戦災による被害

また、西宮市は先の第二次世界大戦で、5回にわたって大規模な空襲を受け、市街地のほとんどを焼失した。その被害状況は表1-1-5のとおりである。

このように、死者1,114人、負傷者6,386人、全半壊家屋61,168世帯(以上12月28日現在)にもおよぶ被害となった今回の地震は、本市にとっても有史以来、未曾有の災害であったといえる。

表1-1-4 風水害等による被害状況

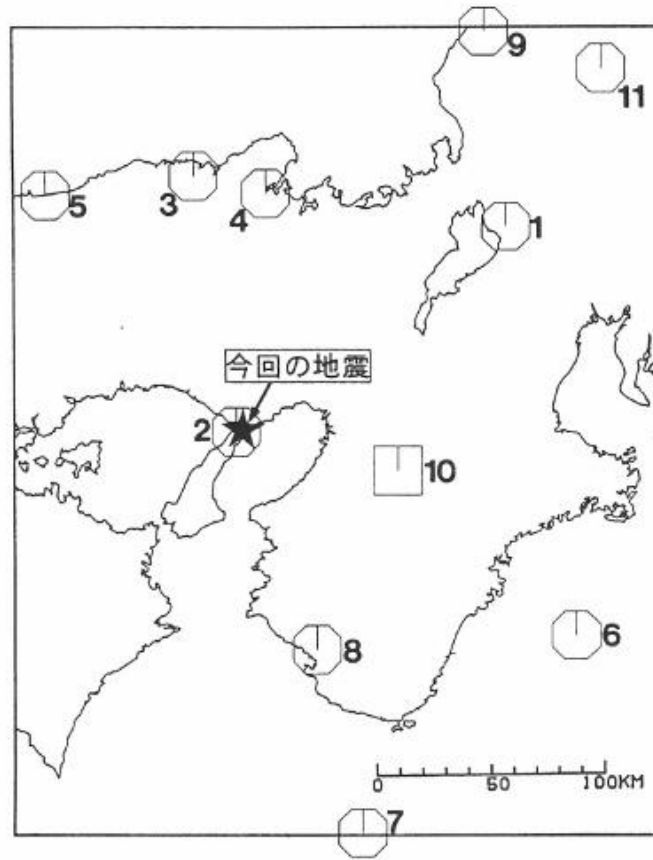
年月日	災害種目	人的被害(人)			住家の被害(戸)					
		死者	行方不明	傷者	全壊	流失	半壊	床上浸水	床下浸水	
S 8. 9. 4	台風	—	—	4	—	—	—	103		
S 8.10.20	*	1	—	—	—	—	—	20		
S 9. 9.21	室戸台風	25	—	57	76	138	228	2,932	2,342	
S10. 6.29	梅雨前線	5	—	—	2	—	2	3,000	5,000	
S13. 7. 3-5	*	4	2	—	3	—	6	2,300	12,000	
S25. 9. 3	ジェーン台風	2	—	261	175	21	1,562	1,609	4,323	
S26.10.15	ルース台風	1	—	1	—	—	—	46	210	
S35. 8.29	台風16号	25	1	22	9	11	19	182	1,893	
S36. 6.26-28	梅雨前線	2	—	3	5	—	10	620	10,627	
S39. 9.25	台風20号	1	0	32	10	50	87	1,160	6,540	
S40. 9.10-17	台風23・24号	—	—	4	全壊・焼 7	流 失 70	半壊・焼 180	一部損壊	14	488
S40.10.26	タンクローリー爆発事故	7	—	20	17	—	7	9	—	—
S42. 7. 9	7月豪雨	6	0	4	5	—	10	17	1,289	18,785
S58. 9.28	台風10号	8	1	5	1	—	—	—	87	715
H元. 9.14	豪雨	1	—	—	—	—	3	3	405	10,200

表1-1-5 戦災による被害状況（「西宮市史第3巻」より）

	人的被害(人)			物的被害(戸)				罹災者数(人)
	死亡	重傷	軽傷	全焼	半焼	全壊	半壊	
西宮市	637	883	1,470	15,003	151	289	410	66,522
鳴尾村	188	235		3,611	237	106	204	19,993
計	825	2,588		18,614	388	395	614	86,515

図1-1-6 表1-1-3

近畿地方に被害をもたらした1900年以降の主な地震(M 6以上、人的被害を伴った地震)



番号	年月日	時分	震央地名	北緯	東経	M	津波有無	最大震度	備考(被害内容等)
1	1909 08/14	15:31	滋賀県東部 ※江濃(姉川)地震	35°24'	136°18'	6.8	有	Ⅲ:彦根,岐阜	死者41名、負傷者784名、家屋全壊978など 姉川河口の琵琶湖で高さ6尺(1.8m)の波が押し寄せた。
2	1916 11/26	14:08	兵庫県南岸	34°36'	135°00'	6.1	無	Ⅳ:大阪,徳島	死者1名、負傷者5名、家屋倒壊3など
3	1925 05/23	11:09	兵庫県北部 ※北但馬地震	35°36'	134°48'	6.8	無	Ⅲ:豊岡	死者465名、負傷者1,106名、家屋全潰1,733など
4	1927 03/07	18:27	京都府北部 ※北丹後地震	35°32'	135°09'	7.3	有	Ⅲ:宮津,豊岡	死者2,925名、負傷者7,806名、家屋全壊5,026など 円山川河口の津島山港で、高さ30cmの小津波。
5	1943 09/10	17:37	鳥取県東部 ※鳥取地震	35°31'	134°05'	7.2	無	Ⅲ:鳥取	死者1,083名、負傷者3,259名(重傷者669名)、家屋全壊7,485など
6	1944 12/07	13:35	熊野灘 ※東南海地震	33°48'	136°37'	7.9	有	Ⅲ:津,御前崎	死者998名、重傷者3,059名、住家全壊26,130など 波の高さ熊野灘沿岸で6-8m、遠州灘沿岸で1-2mなど
7	1946 12/21	04:19	紀伊半島沖 ※南海地震	33°02'	135°37'	8.0	有	Ⅴ:潮岬,尾鷲,橿原, 徳島,洲本,彦根, 高知,津,境,高松	死者1,330名、家屋全壊11,591、家屋焼失2,598など 波高は紀伊の南端段で6.9m(平水上)、三重・徳島・高知で 4-6mなど
8	1948 06/15	20:44	和歌山県南東部	33°45'	135°24'	6.7	無	Ⅳ:和歌山,神戸,大阪, 潮岬,尾鷲,洲本, 伊良湖,室戸岬,橿原	死者2名、負傷者33名、家屋倒壊60名など
9	1948 06/28	16:13	福井県北部 ※福井地震	36°10'	136°12'	7.1	無	Ⅲ:福井	死者3,769名、負傷者22,203名、家屋全壊36,184など
10	1952 07/18	01:10	奈良県西部 ※古野地震	34°27'	135°47'	6.8	無	Ⅳ:橿原,京都,大阪,津,尾鷲, 神戸,亀山,洲本,彦根, 姫路,岐阜,岡山,名古屋, 豊岡,四日市,和歌山,福井, 鳥取,奈良	死者9名、負傷者136名、住家全壊20など
11	1961 08/19	14:33	福井県東部 ※北美濃地震	36°01'	136°46'	7.0	無	Ⅳ:福井,敦賀,飯田,名古屋, 舞鶴,津,豊岡,亀山	死者8名、負傷者43名、住家全半壊15など

注意) 震央地名:※印は地震の通称

備考欄:“波の高さ”・“波高”はある基準海面上の波の高さを示す。基準海面としては平均海面、当時の潮位などがある。

参考文献) 渡辺健夫:日本被害津波総覧

## 2 火災の発生

消防局は地震発生直後、直ちに市内各消防署に対し「火災の鎮圧及び人命救助を最優先し最善の行動を取るよう」指令し、いち早く駆け付けた消防局長を中心に管制室内に指揮本部を設置した。最初に火災を覚知したのは、地震発生から6分後の午前5時52分で管制室から発見

(自己覚知)したものである。この後、午前7時までの間に出勤隊による発見及び駆込み等で22件の火災を覚知した。

今回の地震に伴う火災発生件数は、1月17日34件、18日4件、19日3件、計41件であった。

表1-2-1 火災発生の概要

日	発生件数	焼損棟数(棟)		焼損面積(㎡)		り災世帯		死者	負傷
17	34件 内 車両火災 3件 再燃火災 4件	83		6,851		124世帯274人		人	人
		全焼	49	全焼	5,048	全損	91世帯195人		
		半焼	4	半焼	1,587	半損	4世帯10人		
		部分焼	17	部分焼	216	小損	29世帯69人		
		ぼや	13						
18	4件 内 再燃火災 2件	4				2世帯2人		—	—
		全焼	—	全焼	—	全損	—		
		半焼	—	半焼	—	半損	—		
		部分焼	1	部分焼	—	小損	2世帯2人		
19	3件	3		798		28世帯45人		—	—
		全焼	1	全焼	570	全損	18世帯31人		
		半焼	2	半焼	228	半損	1世帯2人		
		部分焼	—	部分焼	—	小損	9世帯12人		
合計	41件 内 車両火災 3件 再燃火災 6件	90		7,649		154世帯321人		13	2
		全焼	50	全焼	5,618	全損	109世帯226人		
		半焼	6	半焼	1,815	半損	5世帯12人		
		部分焼	18	部分焼	216	小損	40世帯83人		
		ぼや	16						



アパートの火災(南昭和町)

図1-2-1 震災における火災発生状況

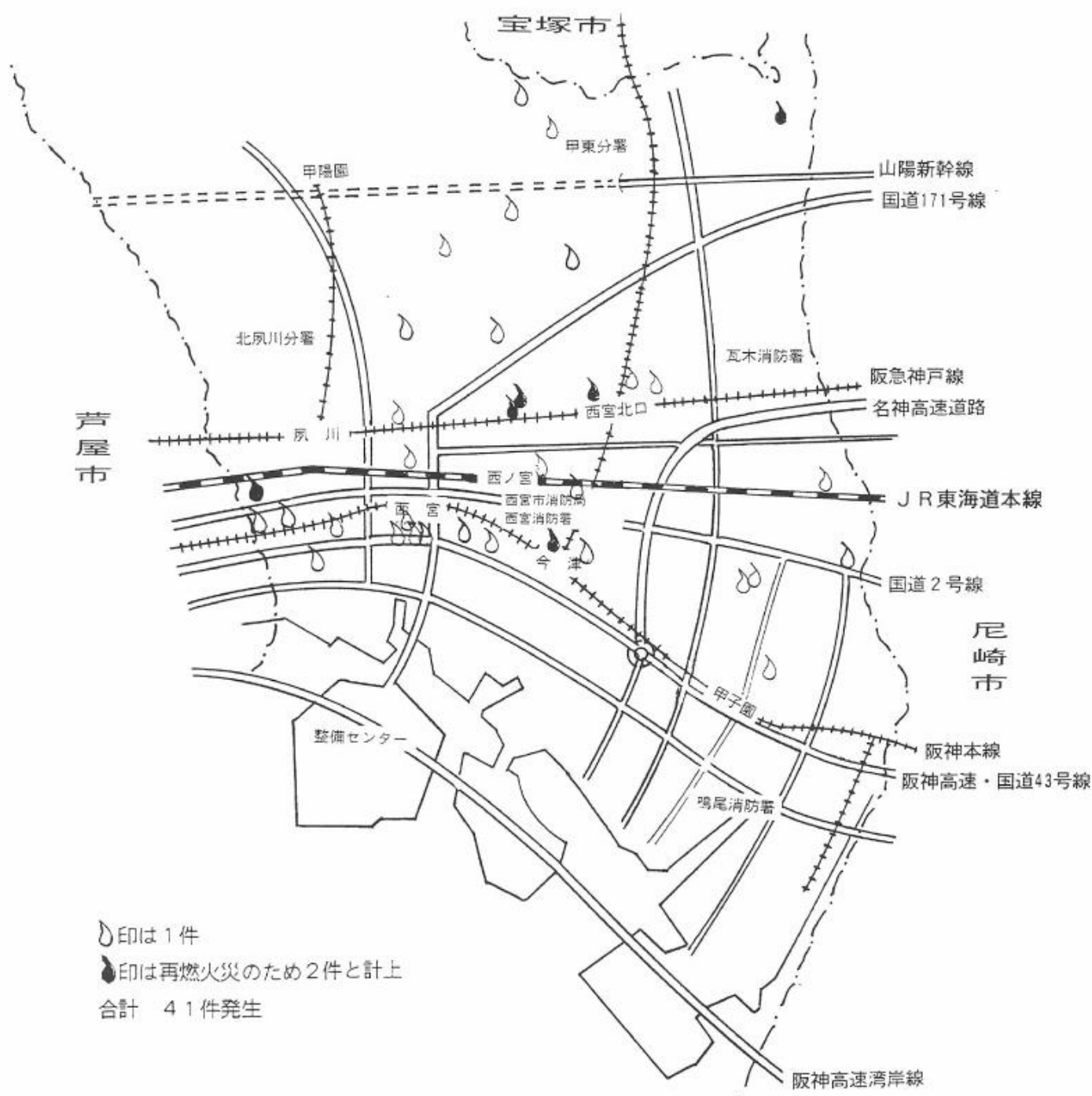


表1-2-2 火災発生状況

№	署別	発生日時	発生場所	焼損程度	り災世帯	死傷者	初期消火
1	西宮	1月17日 5:47頃	神明町4	共同住宅 1棟 207㎡全焼	7世帯9人	死者4人	なし
2	瓦木	1月17日 5:47頃	一里山町1	校舎 1棟 1,204㎡半焼	なし	なし	学校職員が消火器使用
3	瓦木	1月17日 5:47頃	上ヶ原一番町1	校舎 1棟 部分焼	なし	なし	学生が消火器使用
4	西宮	1月17日 5:47頃	青木町9	共同住宅 4棟 442㎡全焼	7世帯15人	なし	付近住民がバケツリレーを実施
5	瓦木	1月17日 5:47頃	広田町1	共同住宅・住宅 15棟1,422㎡全焼 3棟 部分焼	20世帯67人	死者1人	付近住民がバケツリレーを実施
6	瓦木	1月17日 6:40頃	高木西町5	住宅 5棟 522㎡全焼 11棟 40㎡半焼 1棟 10㎡部分焼 2棟ぼや	13世帯28人	死者1人	付近住民が消火器100本使用及びバケツリレーを実施
7	瓦木	1月17日 6:55頃	門戸岡田町1	住宅 1棟 110㎡全焼	1世帯1人	なし	消防職員、付近住民が消火器100本使用及び20~30人がバケツリレーを実施
8	瓦木	1月17日 6:55頃	仁川百合野町10	住宅 7棟 543㎡全焼	8世帯26人	死者4人 負傷者1人	付近住民が消火器100本使用及び住民、学生100人がバケツリレーを実施
9	西宮	1月17日 6:10頃	弓場町9	店舗他 4棟 273㎡全焼	2世帯6人	なし	付近住民が近くのマンション2ヶ所から屋内消火栓を使用
10	西宮	1月17日 5:50頃	郷免町5	住宅 3棟 247㎡全焼 車両 1台 全焼	3世帯11人	死者3人	寮生による屋内消火栓(3ヶ所)使用及び付近住民が消火器、バケツリレーを実施
11	西宮	1月17日 6:45頃	弓場町6	住宅 2棟 156㎡全焼 58㎡半焼	2世帯6人	なし	付近住民がバケツリレー実施
12	西宮	1月17日 6:52頃	若松町4	共同住宅 1棟 143㎡部分焼	8世帯19人	なし	なし
13	西宮	1月17日 6:52頃	津門仁辺町4	共同住宅 1棟 119㎡全焼	6世帯6人	なし	管理人と寮生が自寮の屋内消火栓を使用
14	瓦木	1月17日 6:55頃	一ヶ谷町8	共同住宅 1棟 ぼや	1世帯2人	なし	付近住民が消火器使用
15	鳴尾	1月17日 7:30頃	甲子園五番町2	住宅 1棟 114㎡全焼 3棟 22㎡部分焼	4世帯12人	負傷者1人	家人、付近住民がバケツリレーを実施
16	瓦木	1月17日 6:30頃	甲子園口北町1	店舗・住宅 1棟 173㎡全焼 3棟 部分焼	2世帯6人	なし	付近住民が消火器使用
17	瓦木	1月17日 8:30頃	戸崎町6	店舗 1棟 ぼや	——	なし	なし
18	西宮	1月17日 9:05頃	青木町9	住宅 2棟 156㎡全焼	2世帯7人	なし	付近住民がバケツリレーを実施
19	西宮	1月17日 9:25頃	上甲子園3丁目4	共同住宅 1棟 352㎡全焼	10世帯14人	なし	付近住民が消火器使用
20	瓦木	1月17日 5:47頃	北口町21	住宅 1棟 90㎡全焼 1棟 部分焼 1棟 ぼや	2世帯6人	なし	付近住民が消火器使用及びバケツリレーを実施
21	西宮	1月17日 12:30頃	常盤町7	住宅 1棟 122㎡全焼 1棟 部分焼	2世帯7人	なし	付近住民がバケツリレーを実施
22	西宮	1月17日 12:43頃	上甲子園3丁目4	共同住宅 1棟 26㎡部分焼	1世帯1人	なし	なし
23	瓦木	1月17日 13:00頃	一里山町1 (再燃)	校舎 1棟 3㎡部分焼	——	なし	なし
24	西宮	1月17日 13:00頃	郷免町5 (再燃)	住宅 3棟 ぼや	——	なし	なし
25	西宮	1月17日 17:10頃	与古遊町5	共同住宅 1棟 ぼや	2世帯2人	なし	付近住民がバケツリレーを実施
26	西宮	1月17日 17:20頃	津門仁辺町4 (再燃)	共同住宅 1棟 ぼや	——	なし	なし
27	瓦木	1月17日 20:10頃	南昭和町2	共同住宅 1棟 285㎡半焼	16世帯16人	なし	付近住民が市場内の屋外消火栓、消火器使用及びバケツリレーを実施
28	西宮	1月17日 21:30	青木町9 (再燃)	共同住宅 1棟 ぼや	——	なし	なし



No.	署別	発生日時	発生場所	焼損程度	り災世帯	死傷者	初期消火
29	西宮	1月18日 0:55頃	青木町9 (再燃)	住宅 1棟 ぼや	—	なし	なし
30	瓦木	1月18日 7:28頃	南昭和町2 (再燃)	共同住宅 1棟 ぼや	—	なし	なし
31	西宮	1月18日 16:13頃	馬場町1	共同住宅 1棟 部分焼	2世帯2人	なし	なし
32	西宮	1月18日 16:20頃	戸田町6	店舗 1棟 ぼや	—	なし	なし
33	西宮	1月19日 8:11頃	宮西町4	共同住宅 1棟 181㎡半焼	10世帯15人	なし	付近住民が消火器100本使用及び近くのマンションの屋内消火栓を使用
34	西宮	1月19日 17:00頃	上霞原町1	共同住宅 1棟 570㎡全焼	16世帯24人	なし	消火器使用
35	西宮	1月19日 18:00頃	溝池谷町5	住宅 1棟 47㎡半焼	2世帯6人	なし	消火器、水道水使用
36	瓦木	1月17日 6:30頃	上ヶ原六番町1	共同住宅 1棟 12㎡部分焼	3世帯3人	なし	消火器使用
37	西宮	1月17日 6:00頃	本町7 国道43号線上路上	大型トレーラー 1台 全焼	—	なし	消火器使用
38	西宮	1月17日 6:00頃	本町7 国道43号線上路上	普通貨物自動車 1台 全焼	—	なし	消火器使用
39	西宮	1月17日 6:00頃	本町7 国道43号線上路上	普通乗用車 1台 全焼	—	なし	消火器使用
40	西宮	1月17日 7:00頃	津門丸羽町2	共同住宅 1棟 ぼや	1世帯1人	なし	なし
41	西宮	1月17日 5:50頃	津門大塚町7	共同住宅 1棟 ぼや	1世帯3人	なし	水バケツ

表1-2-3 地震に伴う出火原因及び時間別一覧表

(件)

発火源	経過等	合計	出火日時						
			1/17 5:47 ? 7:00	7:00 ?	9:00 ?	11:00 ?	13:00 ?	1/18	1/19
				9:00	11:00	13:00	0:00		
		41	22	3	2	4	3	4	3
電気ストーブ	ストーブの転倒	3	2						1
化学薬品	硝酸類が混合	1	1						
	金属ナトリウムが水と反応	1	1						
屋内配線	配線がショート	1		1					
水槽用ヒーター	水槽の水がなくなり過熱	2	1	1					
電気アンカ	電気アンカ本体の破損	1	1						
練炭届こたつ	練炭の上に可燃物が落下	1	1						
ガス湯沸し器	種火に都市ガスが引火	1	1						
飛び火	火の粉が壁根に飛び火	1			1				
インターホン	配線がショート	1						1	
蛍光灯	蛍光灯のスパーク	1						1	
再燃	残り火から再び出火	6				2	2	2	
原因不明	建物の火災	18	11	1	2	1	1		2
	自動車の火災	3	3						